

令和6年度 岩手県立盛岡北高等学校
第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）会議録

1 日時 令和6年5月29日（水）15:20～16:30

2 場所 本校2階講義室

3 出席者

学校運営協議会

森 英記（会長） 村上貢一（副会長） 野原勝博 小畑和滋 阿部大我
坂本 斉

本校教職員

嶋 隆（校長） 五十嵐忠義（副校長） 堀井祐輔（事務長）
田中基（総務主任） 高橋史顕（教務主任） 平野利浩（生徒指導主事）
田上洋一（進路指導主事） 中島美名子（保健主事）
高見延也（図書視聴覚主任） 館澤理枝（総務記録）

4 次第

- (1) 委嘱状交付
- (2) 学校運営協議会会長挨拶
- (3) 校長挨拶
- (4) 学校概況説明
- (5) 協議
 - ア 本年度の学校経営計画について
 - イ 働き方改革アクションプランについて
 - ウ その他
- (6) 学校運営協議会委員よりご提言

5 記録

○学校運営協議会会長挨拶

国によって評価の仕方はさまざまである。仕事や人間の一流育成を目指し、今後も教育活動を行っていただきたい。

○校長挨拶

今年度は創立50周年を迎え、各種事業を進めている。また、高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に採択された。校訓である「師弟和熟」のもと、地域や家庭とのコミュニケーションを図りながら学校経営を進めていきたい。

○協議

ア 本年度の学校経営計画について

学校経営計画について、校長、副校長、各分掌主任から説明した後、学校運営協議会委員からの質問、意見等をいただいた。

質疑①：臨時避難所になっているため、防災訓練を地域住民と行う機会を設けるのはどうか？

回答①：次年度以降に向けて検討する。

質疑②：DXハイスクールにおいて、ICT活用の徹底を図るとあるが、理数を強化するということか？

回答②：文理隔てなくICTを有効に活用しながら教育を行う。予算に似合う教育を展開し、生徒に還元していく。

意見①：学校生活アンケートは非常にいい取り組みと考える。今後とも大切にしてほしい。

意見②：周年事業もあるが、あまり歴史について触れていない。母校愛も薄れてきている気がする。また、緊急時に対応できるような地域と密接な学校であってほしい。

イ 働き方改革アクションプランについて

教職員の働き方改革について、副校長から説明した後、学校運営協議会委員からの質問、意見等をいただいた。引き続き教職員が働きやすい環境づくりをしてほしいとの意見が出された。

ウ その他

特になし

○学校運営協議会委員よりご提言

- ① 50周年に向けての進行状況があまり見えない。ホームページ等で最新の情報をこまめに発信してほしい。
- ② 「妊娠SOS」の紹介。性教育の一環から、生徒へ発信してほしい。
- ③ 滝沢市として引き続きさまざまな場面で連携を図りたい。
- ④ 特色入試により、スポーツ人材が少なくなるのではと考える。しかしながら、時代の流れに合わせてみんなで盛岡北高を築き上げていきたいと考える。